

大規模災害を想定した水害対応訓練を行います

～村山地方の3町と県、国による実践的な訓練を実施～

近年の異常降雨を踏まえ、「最上川上流域の減災に係る取組方針」に基づき、**大規模災害を想定した水害対応訓練**を実施します。

簡易ロールプレイング方式と**課題解決型**の訓練を行い、危機管理担当者の災害対応能力の向上を図り、災害に備えます。

- 開催日時** 平成30年10月18日（木）10:00～15:00
※今回の訓練にあたり、特徴を持った訓練（課題解決型）の説明及び訓練は、13:00 概要説明、13:15 訓練開始を予定しています。
- 開催場所** 山形河川国道事務所 2階大会議室
- 参加団体** 中山町、朝日町、大江町、山形県、山形河川国道事務所（約40名出席予定）
- 内容等** 洪水危機管理演習
①簡易RPG方式による演習
②**課題解決型**による演習 ※別添参照
- 取材** 会場での受付後、撮影は随時可能とします。

〈発表記者會〉 山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部

問い合わせ先

（最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 事務局）



国土交通省

東北地方整備局 山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目3番55号
TEL 023-688-8933（直通）

副所長 さとう 佐藤 かつみ 勝美（内線204）

調査第一課長 くりた 栗田 まさよし 政芳（内線351）

スケジュール(予定)

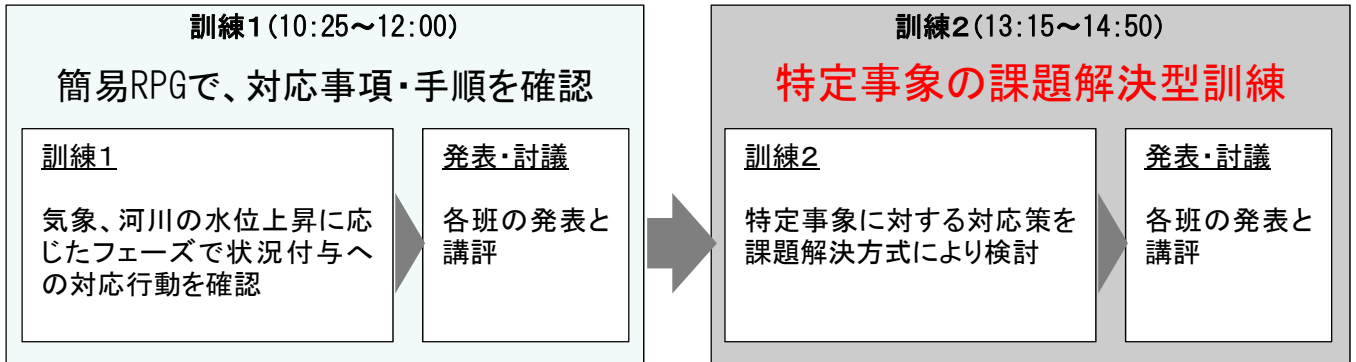


【留意事項】

- ①当日の気象、災害状況等により延期する場合があります。
- ②当日は、一般の方々の見学も可能です。
- ③報道機関を対象に、当日の9:45から全体の訓練内容、12:45から午後の訓練内容を説明しますので、会場入口で受付をしてください。

実施内容

演習の流れ



※訓練1 簡易ロールプレイング方式とは

- 気象状況や河川の水位上昇に応じていくつかのフェーズに分類し、フェーズごとに浸水被害等の状況を付与し、対応行動を検討、書き出していく方法を採用。
- 状況付与は、紙媒体で行う簡易なものとし、想定時間で状況付与を行う。
- 各フェーズ10分程度とし、いくつかの状況付与を行い、適切な対応行動を各班ごとに検討し、書き出す。

※訓練2 課題解決型とは

- 予め対応方法が詳細に検討されていない特定事象の状況を付与する。
- プレーヤーはその状況に対して、限られたリソース(情報、人員等)の中で取り得る最適な対応を図面等をもとにDIG方式で検討する。
(DIG: Disaster Imagination Game)
- 付与される特定事象に対して様々な観点からディスカッションすることで、**予め準備して置かなければならない課題と改善策(対応の優先事項の考え方、対応マニュアルの更新、事前調査等)を掘り起こす**ことを企図。

※今回の主な訓練想定

- ・異常豪雨に伴う河道閉塞
- ・堤防決壊に伴う排水停止 等



会場に関するお問合せ及び当日の連絡先
TEL 023-688-8933(山形河川国道事務所 調査第一課)

平成30年度 最上川上流危機管理演習状況 (9月27日・ヒルズサンピア山形)



訓練の様子



訓練評価